・本資料は効果効能を保証するものではありません。
・本資料の著作権は㈱キティーに帰属します。当社に事前の承諾無く、複製等の行為は固くお断りいたします。

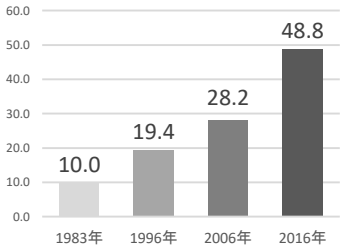
花粉症市場と対策素材・ゼロアレル乳酸菌®KT-11

ゼロアレル乳酸菌は、株式会社キティーの登録商標です。

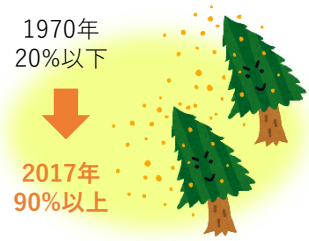
近年患者数が増加の一途をたどり、国民の多くが苦しめられている花粉症。今回の研究レポートでは、花粉症患者増加背景と今後の展望、そして花粉症対策に効果的な食品素材の市場性とその効果について紹介します。当社の素材、ゼロアレル乳酸菌®KT-11についての臨床試験データも併せてご案内いたします。

花粉症患者数は年々増加、背景はスギやヒノキの樹齢

都全体のスギ花粉症推定有病率(%)
東京都福祉保健局花粉症患者実態調査報告書(H28年度)



樹齢30年以上のスギ
植林面積割合



東京都内の花粉症患者数は調査を開始以来、年々増加傾向にあります。今後も花粉症人口は増えていき、花粉症対策製品の需要はますます増加していくと考えられています。

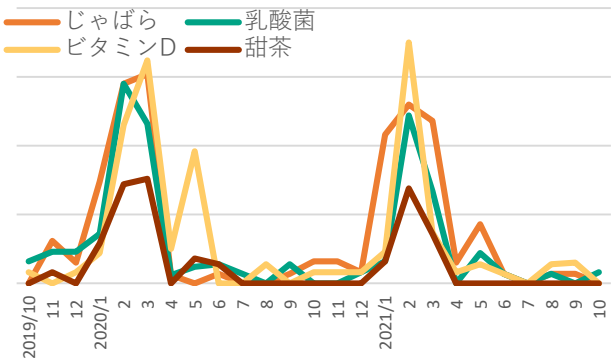
背景には、スギやヒノキの樹齢が花粉飛散の適齢を迎えていることが挙げられます。スギやヒノキは樹齢30～60年で花粉飛散のピークを迎えるとされ、1980年ごろまで植林された樹木の大部分が、大量の花粉を飛散させることが原因とされています。

（東京都安全健康センター　令和3年度版　花粉症一口メモ）

スギ・ヒノキの花粉飛散量増加に伴い、花粉症患者も年々増加

今注目を集める花粉症対策素材

消費者の検索する花粉症対策素材　Google trends 2021/10/27



1～3月に検索される素材に注目

じゃばら

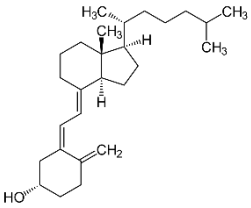
柑橘類の中でも花粉症対策製品として一際注目を集めているじゃばらは、消費者の声から研究がスタートし、ネット販売の実績とともに注目を集めてきた素材です。

ナリルチンなどのフラボノイドを多く含み、花粉症の改善効果はヒト臨床試験でも確認されています。

柑橘類の生産を代表する和歌山県産ブランドに加え、さわやかな香りや酸味から、健康食品だけでなく一般食品にも組み合わせやすい素材として、一般消費者にも幅広く認知されています。

アレルギーの臨床 2021; 41(3)248-254

ビタミンD



骨形成を補助する栄養素ですが、近年の研究では冬季うつ病・歯周病・免疫賦活についても効果的である可能性があり、コロナ禍においてもさらに注目を集めています。

花粉に対してアレルギー症状を持つ5歳から12歳の小児38名にビタミンDを25μg/日摂取させたところ、アレルギー性鼻炎の重症度スコアが有意に減少したという報告があり、花粉症対策素材としても需要が高まっている成分です。

Arch Med Sci. 2018 Jan;14(1):122-131

甜茶

花粉症対策製品の中でも古くから知名度の高い素材が甜茶です。中国では薬草茶として長らく飲用された歴史的背景のほかに、自然で低カロリーな甘みを持つことから、ダイエット時の空腹感を抑える目的でも注目されている市場浸透性の高い素材です。

甜茶に含まれるフラボノイド・ポリフェノールなどが効果をもたらすと考えられており、臨床試験では甜茶抽出物を1,200 mg/day摂取した群では、くしゃみ・鼻水などの症状で軽減傾向がみられました。

Auris Nasus Larynx 38 (5): 600–7.

・本資料は効果効能を保証するものではありません。
・本資料の著作権は㈱キティーに帰属します。当社に事前の承諾無く、複製等の行為は固くお断りいたします。

花粉症市場と対策素材・ゼロアレル乳酸菌®KT-11

ゼロアレル乳酸菌は、株式会社キティーの登録商標です。

花粉症の悩みから発見された乳酸菌　ゼロアレル乳酸菌®KT-11

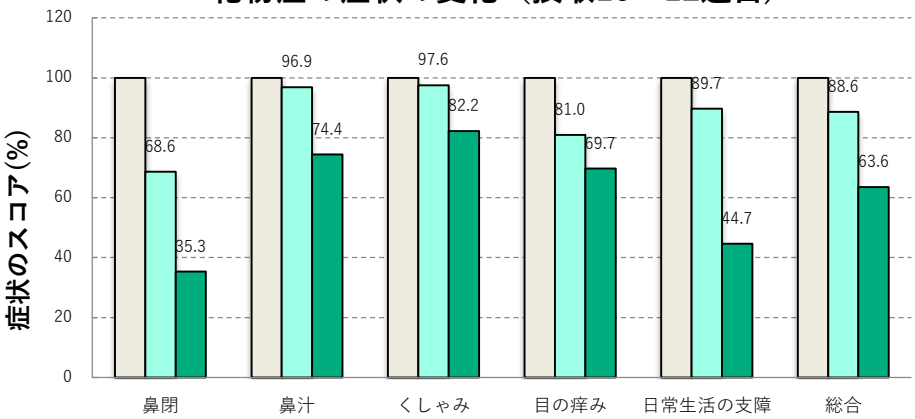
ゼロアレル乳酸菌®KT-11（*Lactobacillus crisupatus* KT-11株）は、当社の研究員自身が花粉症であったことがきっかけとなり発見された乳酸菌です。花粉症対策ができる安心安全な食品素材は作り出せないか、という発想のもと、菌株ライブラリーの中から選抜された乳酸菌について、花粉症改善効果の研究を長年重ねてきました。

ゼロアレル乳酸菌®KT-11 電顕写真
（*Lactobacillus crisupatus* KT-11株）

加熱処理済みの*Lactobacillus crisupatus* KT-11株の摂取による花粉症様症状の緩和（ヒト臨床試験）

Tobita *et al.* 応用薬理(2016)

花粉症の症状の変化（摂取10～12週目）



■試験方法
花粉症の症状を訴える健康なボランティアに、プラセボ錠または加熱処理KT-11含有錠剤を1月下旬～4月下旬まで12週間毎日摂取してもらい、鼻アレルギー診療ガイドラインに基づき症状を評価しました。

- □ プラセボ
- □ KT-11（200億個/日）
- ■ KT-11（1,000億個/日）

一部抜粋・改変

血中の好酸球数

プラセボG
摂取後：184%

KT-11株 200億個/日
摂取後：134%
有意差無し

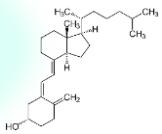
KT-11株 1,000億個/日
摂取後：118%
有意差無し

■試験結果
加熱処理KT-11の摂取により花粉症様症状（特に鼻閉・鼻汁）について、緩和効果が確認されました。
また、KT-11の摂取により鼻腔粘膜の腫脹を導く好酸球の増加を抑制することで、花粉症様症状緩和作用をもたらす事が示唆されました。

花粉症の患者は今後も増える見込みにあり、実際に摂取した際の体感が必要不可欠な今、エビデンスが確認されているだけでなく、消費者の方々も理解しやすく受け入れられやすい素材が求めてられています。
ゼロアレル乳酸菌®KT-11をはじめとする花粉症対策食品素材で、すっきり健やかな春を迎えられる製品を企画してみてはいかがでしょうか。

臨床試験の実績

ゼロアレル乳酸菌®KT-11



【本件に関する御問い合わせ】
株式会社キティー 〒103-0023　東京都中央区日本橋本町1-6-1
TEL:03-6457-7990 FAX:03-6457-7992　http://www.kitii.co.jp/

カラダにオイシイ、キットイイ。